



The service club to the YMCA

THE Y'S MEN'S CLUB OF TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
〒 662-0977 西宮市神楽町
5-23
西宮 YMCA 内
Tel (0798)35-5987



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2023年10月会報 第418号

主 題 ・ 標 語

国際会長(IP)

Urlik Lauridaen (Denmark)

主 題 “Let Your Light Shine” 「輝かそう、あなたの光」

スローガン “Good Communication Is the Cornerstone in Every Cooperation”

「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」

アジア太平洋地域会長(AP) Keiko Tonegawa (Japan)

主 題 “Be the light for change 「変革のための光となろう」

スローガン “Shine and empower through fellowship 「親睦を通じて輝き、力を得よう」

西日本区理事(RD) 深谷 聡 (名古屋クラブ)

主 題 「未来に灯そう(ともそう)きぼうの光」

副 題 「互いに認め合う 世界の友」

六甲部長 井出 浩 (神戸クラブ)

主 題 「YMCAとのさらなる協働を目指して」

宝塚クラブ会長 石田由美子

主 題 「楽しくなければワイズじゃない！」 No enjoyment ,no Y's life

今月のテーマ : ASF

YMCA の歴史を学び、使命を理解し、ワイズの意義を再考しましょう。私たちはもっと仲良くなれる！

吉田 由美Yサ・ユース事業主任 (大阪なかのしま)

2023年10月例会(ハイブリッド)

日 時 : 2023年10月11日(水)18:30

場 所 : 宝塚西公民館

会 費 : 1500円

ドライバー 長尾 亘 郡家 学

開会点鐘 石田由美子会長

ワイズソング 全 員

聖書朗読・祈祷 福家清美

ゲスト・ビジター紹介 会 長

会 食

お 話

安場 翼 さん、

西谷地区まちづくり協議会地域活性化部会
部会長

「世界をつなぐ西谷プロジェクト」

各委員会報告

YMCA報告

誕生日のお祝い 会 長

ニコニコファンド

閉会点鐘 石田由美子会長

2023~2024 役員	会 長 石田由美子 副会長 武田寿子 書 記 福田宏子 会 計 小林康男、郡家学 会計監査 加藤光信、若林成幸 担当主事 橋本唯 メネット連絡 小林貴美子 直前会長 小林康男
	喜多邦子(21)
10月 誕生日	
9 月 実 績	例会出席者数 19名(Zoom2名) 在籍会員数 17名 出席会員数 12名(Zoom1名) 出 席 率 70.5 % メイクアップ(内数) 0名 メネット・コメント・孫メット 2名(Zoom0名) ゲスト・ビジター 4名(Zoom0名) 例会充足率 111.7% アソシエイト会員 1名(Zoom1名)
	ここにこBOX 0円 累 計 11,400円 ファンド(たかラムネ) 3,365円 累 計6,965円 (真菰茶) 9,625円 累 計18,875円 ファンド合計 37,240円

聖句

主よ、しかし、食卓の下の小犬も、子供のパン屑はいただきます」
新約聖書・マルコ福音書 7 章 24 - 30 節

随想

主イエスがティルスとシドンの地方に行かれた時、ある女性が駆け込んで来て主イエスの足元にひれ伏し、娘が悪霊から癒されることを願いました。

ところが、主イエスは「まず、子供たちに十分食べさせなければならない。子供たちのパンを取って、小犬にやってはいけない」(27 節)と言いました。

ここで「子供」はユダヤ人、「子犬」は異邦人を指しています。まずユダヤ人が救われ、あなたのような異邦人は後回し。主イエスは母親にそう言ったのです。ひどい話です。

ところが…。昔、テレビのコマーシャルで 2 人の社員がピンポンを押して玄関の戸を開けると、中から泉谷しげるさんが汚い言葉を吐きながら出て来ました。「なんだ、また今年も来やがったのか。しつこい奴らじゃのう!!」と汚い言葉を叫びながら。

しかし、彼の顔はこぼれんばかりの笑みに溢れていました。

言葉だけでイメージすると「帰れ、もう二度と来るな!」になりますが、満面の笑みを含めた言葉では「よく来た、よく来た。今か今かと待っていたんだよ。さあ、早くおあがり!」になりませんか。

聖書にはさまざまな出来事が記されていますが、残念なことに、細かなしぐさや状況まで記していません。ですから、これは想像なのですが、もしここで主イエスが母親に「子供たちのパンを取って小犬にやってはいけない」と言った後、たとえばウインクでもしたらどうでしょう。同じ言葉でも言葉の意味が正反対になりませんか。

実は、7 章の初めで手を洗わないで食事をしていた主イエスの弟子に対してファリサイ派の人々が禊の掟を守っていないと注意をしました。主イエスはここティルスに来てても律法遵守にこだわるファリサイ派に胸くそ悪い思いをひきずって、ここにやって来ていたのです。

それで、このギリシア生まれの母親にも「あいつら(ファリサイ派)が言うには、こどもたちのパンを取って小犬にやってはいけないんだってさ!」と皮肉を込めて言ったとすれば、母親がそんな思いを察知して、ウイットに富んだ次のような返事を自然にすることができたのもうなずけます。

「主よ、しかし、食卓の下の小犬も、子供のパン屑はいただきます」(28 節)。

キャッチボールをする時、親は子どもが受けやすいボールを投げるように、神もレールを引いて私たちが答えやすくしてくださっているのです。

だから、もし願いが聞かれずに拒まれたようである時も、私はそこで神様のウインクを見つけ出したいと思っています。

浦上結慈

9月第1例会報告

例年では、9月半ばともなると、多少の涼風が楽しめたものの、今年は9月13日、酷暑の中での第1例会にメン8名、メネット2名、ゲスト3名、ズーム参加2名を迎えて、石田会長の点鐘で開会した。

今月は先月に続き、地元「宝塚」についての学びの時として、倉橋滋樹氏(NPO 法人



宝塚生涯学習研究会)を招き、「宝塚の明治、大正、昭和」についてお話を伺った。

現在の華麗且つ、夢を与える宝塚歌劇の誕生は、「宝塚市開発の父」と呼ばれる小林一三翁の力によるところが大きく、彼と箕面有馬電気軌道(箕面有馬電機鉄道)が様々な苦難を乗り越えて、発展していった。

明治39年に軌道設置計画が始まり、43年に開通！当初、箕面に動物園、44年に新温泉、45年(大正元年)に、パラダイスを開業、大正2年に新温泉で婦人博覧会、大正3年に婚礼博覧会を開催し、博覧会の余興として、パラダイスで宝塚少女歌劇を上演、これが今日の隆盛の元となった。

飛鳥時代には身体を癒す温泉地、平安時代には心の癒しとして、中山寺(24 札所)、江戸時代には、「宝の塚」があり、そこでものを拾うと、「幸いがある」と言われ、ありがたい塚として、大阪近郊の名所の一つとして取り上げられた。

以前は、阪急沿線「宝塚南口」駅前に情緒豊かな佇まいを構えていた旧宝塚ホテルも武庫川沿いに居を新たに、建物も次から次と高層化され、優雅な気分を醸し出していた優美な銅像が立ち並んでいた宝塚大橋も味気の無い状態と変貌し、昔を懐かしく思われている方も少なくないのではなかろうか？



次に、FM 清水栄治様、山田早苗様、「壁が無ければ実行委員会代表」より、第2回「すべての人の作品展プラス」,2023年10月5日～9日、宝塚市立国際・文化センター／ギャラリーでの開催をPR! 宝塚クラブは10月8日「凧揚げ」に参加予定。

YMCA 報告に続き、今後の予定、誕生日のお祝い、石田会長の閉会点鐘で第1例会に幕を閉じた。

福田 宏子

9月第2例会報告

9月第2例会は9月20日(水)18時30分から西公民館で行われ、石田会長・小林、郡家、武田、多胡、長尾、福田ひ・風早・若林各ワイズ 計9名が出席した。議事要旨は次の通り。

1. 当面の例会運営について

例会ゲスト講師の人選を協議し、電話・メールを使ってその場で折衝、次のように決定した。

- ・10月11日 西谷地区まちづくり協議会地域活性化部会長 安場 翼氏
演題「世界をつなぐメタ西谷プロジェクト」
- ・11月8日 宝塚市子ども未来部たからっ子総合センター 子ども総合相談課長 伊藤 翔氏
演題「子育て・子どもの発達・学校生活に困ったら、“あのね”に相談」
- ・12月13日 クリスマス例会、宝塚教会 浦上牧師による奨励とハンマーダルシマー演奏会
演奏とお話し ハンマーダルシマー奏者 稲岡大介氏

なお、1月はオープン例会として講演会を予定。1月20日(土)午後1時から。

講師 NPO クルーズ代表 川崎孝子ワイズ(神戸クラブ)

演題「発達障がいの人への理解について」、詳細は別途。

10～12月例会のチラシを作成する。

2. 六甲部会への対応について

- ・鹿児島クラブ、松永会長とのミニ DBC ランチを石田・青柳・長尾で行う。
- ・ファンド商品(たかラムネ)を多胡・武田で販売する。

3. CS 事業委員会

- ・「すべての人の作品展ふらす」に協力
 - ① 10/5～8 の参加作品を自立の家から TIFA へ搬入 10月3日午後 小林ワイズ車利用
 - ② 10/8 13時～16時「大空でつながる」の凧づくりと武庫川芝生広場での凧上げに協力
- ・TIFA ロビー・ディスプレイ装飾 10月3日 13時～作業
- ・協力者:石田・多胡・福田ひ・武田・長尾・若林

4. 各部会の案内(略)

5. 新入会者

真藤広子さん、元東京多摩みなみクラブ会員、同クラブ退会後も宝塚と親交、遠隔地ではあるが Zoom 参加や年間数回のリアル参加の予定。入会式を11月例会時に行う。

6. ブリテン10月号の編集について(略)

長尾ワイズの編集方針の説明と寄稿分担の確認を行った。

7. その他(略)

代筆 若林成幸

スピーカープロフィール

安場 翼 さん、

1995 年に兵庫県宝塚市で生まれ、高校まで西谷で育つ。
東京大学及び同大学院にて機械工学・エネルギー工学を専攻。気候変動問題解決に貢献したいという思いの下、就職活動を行う。



大学院修了後、2020 年 4 月に千代田化工建設へ入社し、2022 年 4 月には関西電力へ転職。両社とも水素事業部にて水素の新規事業開発に従事。キャッシュフロー分析や国内外企業との協議を通じて、脱炭素に資する水素事業開発に貢献。

2021 年 11 月には 830 合同会社を設立し、兼業起業家としても事業開発に取り組む。2022 年 4 月より、充電切れの心配のない世界の実現を目指し、充電器のシェアリングサービスに注力。

大学入学に合わせて関東に拠点を移したが、関西電力への転職を機に地元へ戻り、西谷の地域活動にも関わる。現在は西谷地区まちづくり協議会地域活性化部会の部会長として、西谷を活かしたイベントの企画や企業連携などを進める。

チャリティーラン実行委員会報告

第 25 回チャリティーラン 2023 の第 2 回実行委員会が 9 月 21 日(木)18 時から開催され、武田・若林が Zoom で参加した。初めに 22 年度収益金の福祉施設への支援内容報告を承認した後、競技内容を確認した。

競技は、従来のものをマイナーチェンジし、次の通り行うことになった。今回はチャリラン 25 周年記念にあたり多くの参加が期待される場所である。昨年度、宝塚クラブは仮装行列 Minion で参加しました。今年はどうする？

開催日:11 月 23 日(祝) 場所:神戸市しあわせの村運動広場

10:00 開会式・準備体操

10:15 1/10 マラソン(4.2195m、中学生以上)

11:00 1.2Km ウォーキング(個人又はグループ参加、仮装歓迎)

11:40 1/100 マラソン(421.95m、どなたでも)

競技参加費は@1000 円

●協賛金でのご参加

チャリティーランの趣旨にご賛同いただける方は、ご協力ください。

○個人 3,000 円以上 ○企業・団体 1 口 20,000 円以上

●宝塚クラブは団体協賛金 20,000 円を支出予定。個人協賛金は自主的にご判断下さい。

若林成幸

YY フォーラム・ハイキング

9月23日(土)9:00 YYフォーラムが昨年と同じ市ヶ原ハイキングとして行われました。残暑厳しい中、元気なワイズ11名・YMCA各拠点職員約10数名・会員増強委員会・家族など、総勢28名が集まりました。新神戸駅からいきなり急な階段を登り、布引川の雌滝…雄滝…見晴台…ダム広場を経て市ヶ原までの3.7Kmを歩いた。道中、冷菓・冷菓の振る舞いに元気づけられて相手を変えての会話がはずんだ。私は、学園都市Yの職員、明石こども広場の職員、逆瀬川にお住まいの会員増強委員とお話することができました。若い職員はYMCAを背負う頼もしい人材だったと嬉しくなりました。市ヶ原でゲームで親睦を深め、11:30に現地解散となりました。私はまだ元気が余っていたので、一人で再度山を目指して更に10Km程を歩いて帰途につきました。楽しい1日でした。



若林成幸

六甲部第一回メネット委員会開催

六甲部メネット委員長 青柳美知子

去る9月1日(金)、芦屋のモンテメール内、逸京茶寮に於いて六甲部メネット委員会の第一回委員会を開いた。

出席者は井出 浩部長はじめ、神戸、西宮、神戸ポート、芦屋、宝塚の各クラブから7名であった。昼食を共にしながら以下の事について話し合った。

- 1)「小さい力でもYMCAと共に」を主題として前期に引き続き「六甲部絵本プロジェクト」に取り込む事を確認。その予算案として、昨年どおり各クラブより負担金一万円を基本に前期同額の絵本贈呈が出来るように努める。
- 2)贈呈時期として、2024年1月とし、連絡主事を通してYMCAの施設の一つを選んでもらい、何か一つプログラムを組み贈呈を行う。
- 3)ベルマークについては、整理を毎年担って下さるアンコラージュの学生さん達の説明もし、収集に心を配る事を確認した。
- 4)2024年4月(日程は未定)に行う予定の淡路島国営明石海峡公園への親睦遠足については現地までは公共交通のバスの利用を考えていたが、小型バスの利用の提案あり、その方向で進める事にした。

第 22 回 六甲部会報告

9 月 30 日(土)第 22 回六甲部会が社団法人 神戸倶楽部において開催された。神戸倶楽部は 1869 年



の設立、トアロードの坂を上ったところに位置し、三宮・元町の喧噪から離れ、緑豊かで静寂に包まれ、現在でも 30 カ国余の方々が入国際的な交流・社交の場として維持されているところだ。部会には六甲部のほか西日本区各クラブから総勢 107 名の参加があった。プログラムは 13 時から EMC シンポジウムと 15 時から食事を囲んでの交流会であった。EMC シンポジウムには六甲部を中心に 50 数名の参加があり、杉本 EMC 主査の進行、井出六甲部部長と大森夏彦 EMC 主任の挨拶に続き、5 つのテーブルに分かれて主任から与えられたテーマについてフリー討議を行うという形で進めら

れた。初めのテーマは「ワイズメンズクラブとは」、次は「グループで活動する意味とは」、最後は「メンバー・仲間を増やすには」で、各テーマにつき 10 分程度の話し合いと討議内容を発表した。発表の多くは日常よく話題にするものが多かったが、他クラブの実践事例の紹介もあり、興味深いものとなった。

討議の後、主任は「EMC も Y サも CS も共通の目的のもとに如何にクラブが活力をもって運営されているかが大事だ」と締めくくられた。



15 時過ぎからの六甲部会の開会セレモニーが行われ、六甲部長による開会点鐘・ワイズソング斉唱に続いて福田宏子ワイズの聖書朗読と開会祈祷があった。続いて、来賓の神戸 YMCA 総主事井上真二氏・西日本区理事深谷聡ワイズから祝辞を頂戴した。そしていよいよ、鶴丹谷次期理事の発声で乾杯、食事と交流のたのしい時が始まった。ビール・紅白のワインが運ばれ、デイナー(前菜・人参のスープ・パエリア・ビーフステーキ・デザート)を戴きながら大いに会話を楽しんだ。舞台では女性シンガーとバンドのお洒落な演奏が交流の BGM として楽しませてくれた。最後はお決まりのアピールタイム。「ラオスに YMCA を作ろう」「芦屋クラブの 25 周年例会」「名古屋での西日本大会の予告」「熊本でのアジア大会の予告」など元気なワイズの姿が印象に残った。今回も沢山のワイズと挨拶を交わした。長浜クラブの堀江夫妻は



住まいを米原から千里中央に移され、宝塚との交流を楽しみにされている様子。岡山の三浦ワイズは事業(ロースターなどワイズ出版物の印刷を一手に引き受け)をご子息に譲られ、ご子息は近い将来、クラブ会長をされるとか。鹿児島クラブでも市民クリスマスの開催を計画、宝塚のノウハウを学び

たいと鹿児島クラブの松永ワイズ、などなど。

宝塚クラブのファン事業商品の、たかラムネ60袋と真菰茶大3, 小1のはんばいも完売に感謝。午後 6 時頃、全てのプログラムを終え、部会運営にご苦勞をいただいた神戸クラブに感謝しつつ帰路についた。



若林成幸

DBC ミニ交流会

2023 年 9 月 30 日(土)、六甲部部会出席のため鹿児島クラブの松永英明ワイズが来神。部会までの数時間を長尾亘ワイズ、青柳美知子ワイズと私の 3 人でミニ歓迎ランチ交流会を開催しました。この 1 年以内に 4 回も対面でき交流事業としては嬉しい事です。

部会終了後、鹿児島クラブの DBC である京都ウェルクラブ参加者(中村隆司・典子夫妻、有澤泰伸・信子夫妻)と、京都トップスクラブの的場幸生ワイズ、新幹線待ちの熊本ジェーンズクラブの上村眞智子ワイズ、鹿児島行フライト待ちの松永ワイズ達と

拡大 DBC ミニ交流会。

短時間ながら親交を深めた楽しいひと時でした。



会長/交流事業委員長 石田 由美子

他クラブ訪問

中部部会参加報告

2023 年 9 月 23 日(土・祝)、名古屋・アイリス愛知で中部部会が名古屋東海クラブ主催で開催されました。1 部 式典、2 部 講演、3 部 懇親会というプログラムで 86 名が参加し、六甲部からは井出浩部長、鵜丹谷剛次期理事、そして私の 3 名です。

2 部の講演では「戦艦大和と乗組員」と題して「ザ・ぼんち」の里見まさと氏が終戦 4 ヶ月前に撃沈した戦艦



大和乗組員の生存者の証言をもとに事実を講談風に語られ涙を誘いました。戦争反対を訴えるこの取り組みはご自身のライフワークとの事です。

懇親会はワイズらしく賑やか。名古屋東海クラブメンバーであり有名なみそかつ店「矢場とん」経営者の鈴木一弘ワイズはゲーム賞品としてたくさん「ぶうちゃん」と中日ドラゴンズユニ



フォームを提供され、

私は 9 月生まれの一人として頂きました。関西に持って帰れば完全にアウェイですが・・・

部会に先立ち、10 年前任期を 4 ヶ月残して天に召された成瀬晃三元理事のお墓参りに 5 人で出向き思い出話で「なるちゃん」を偲びました。

石田 由美

メンバー近況報告

”シアトル、自然の中で“

Seattle の生活が始まって1か月が経過し、季節は夏から急速に秋に、木々の色はすっかりカラフルに変化しました。同時に気温も急降下、朝は10度を切ります。当然ヒーターも入りました。不思議なのはそんなに寒い日も、こちらは各人自由気まま、夏服、冬衣装、様々です。

毎年ポートランドから私を訪ねてくれる友人夫妻と、今年是一緒に3泊4日で彼らの弟夫妻の移住先である大自然に囲まれた小さな街を訪ねました。小さな街も家も散在し、それぞれの人口は200人にも満たない自然



環境の中での生活がどんなに癒しと喜びに包まれているかを体験しました。紙面では語りつくせないほどの満足の毎日でした。有名な Cross Country

Trail を歩き、10件にも満たないような街並を散策し、歴史美術館を訪ね、コミュニティ行事のリング絞りに参加し、街に1件のレストランで食事をし、家では各夫妻が2晩のディナーを担当し、スクラッチメニューを楽しみました。コミュニティの奉仕精神に満ちた行事の在り方に感動したり、歴史美術館

では1880年代の先人たちの労苦と献身、知恵と発展が後世に受け継がれている精神に感動しました。今の時代においてテクノロジーの発展は隅々にも行きわたる環境の中、都会では失われている自然との交わりはかけがえのないものだと感じる旅でした。



杉谷和代

昨年、主人が脳出血で倒れてから介護の生活になりました。最初はようになっていくか心配しましたが、今はこの生活にも慣れて2人で楽しく過ごすようになりました。ワイズ活動は今はお休みの状態ですが、お花は変わらず続けます。京都の生花ゼミも受講してまた学校華道の指導にも通っています。お花を生けることで元気をもらっているような気がします。また今月開催された豊中茶華道連盟のいけばな展に若林成幸ワイズ、多胡葉子ワイズ、福田宏子ワイズにもお越し頂き心から有り難く感謝の気持ちいっぱいです。1年もワイズ活動に参加出来ずにいた私を励まし勇気付けて頂き宝塚クラブの皆様の温かさが心に沁み渡りました。これからも何かの形で活動に参加出来たらと思っています。皆様もお身体おいといただきますように！



鯖尻佳子



【YMCA ニュース】

《第24回ワイワイまつり》

「ワイワイまつり」は、すべての人々が平和に暮らすことができる社会をつくり出す国際協力・地域奉仕活動を支えるバザーです。どなたでもご参加いただけますので、ぜひお気軽にお越しください。収益金はYMCA国際協力募金、災害被災地支援、地域のこどもたちの水上安全活動、親子サポートに全額を捧げます。

◆日 時:2023 年 10 月 21 日(土)10:00～15:00

◆会 場:西神戸YMCA学園都市

◆入場料:1人 300 円

《ワイワイまつり恒例 お楽しみ抽選会》

毎年恒例、お楽しみ抽選会を今年も行います！ 抽選券は1枚 100 円で先行販売予定！ 当日券もございます。

《西宮 YMCA こどもカーニバル》

保育園児や卒園児が集う思い出の場として、また、西宮会館で行うプログラムに参加するこどもたちや、西宮YMCA が担う3つの育成センターを利用するこどもたちが集う交流の場として、「西宮YMCAこどもカーニバル」を、対象を限定し開催します。今年度はこれまでの「西宮カーニバル」とは異なり、YMCAに関わるこどもたちが中心となります。西宮会館にこどもが大集合し、笑顔があふれる時を、今から楽しみにしています。

◆日 時:2023 年 10 月 28 日(土)

◆会 場:西宮会館・西宮YMCA保育園

◆対 象:保育園園児、卒園生、西宮YMCA現行メンバーのこどもたち

連絡主事 橋本 唯

編集後記

第三水曜日には大切な事務例会があります。立派な会議室で大事な協議が行われます。初めての紹介です。

長尾 亘

